授業科目　摂食・嚥下障害学

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	言語
今井　信行、西尾　正輝	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	○

【概要・一般目標：GIO】

摂食・嚥下障害について、関連器官の解剖学的形態、運動様式を把握し、機能障害の発症原因を理解するとともに、検査・評価方法、診断方法、治療・訓練方法について学習する。

【学習目標】

1、摂食器官の構造と各器官の運動様式を理解する
2、嚥下器官の構造と各器官の運動様式を理解する
3、食物の認知機構を理解する
4、咀嚼運動、嚥下運動に関して各関連器官の協調運動を理解する
5、摂食・嚥下障害の発症原因と、発現する機能障害を理解する
6、摂食・嚥下障害の検査・機能評価方法と診断方法を理解する
7、摂食・嚥下障害の治療・訓練方法を理解する

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	摂食・嚥下に関連する器官の形態、感覚、運動		講義
2	口腔内の食物認知と咀嚼運動の制御機構		講義
3	嚥下運動の制御機構		講義
4	摂食・嚥下障害の発症要因と機能障害の分類		講義
5	摂食・嚥下障害の検査・診断		講義
6	摂食・嚥下障害の治療訓練		講義
7	摂食・嚥下障害のリハビリテーション（間接・直接訓練）		講義
8	まとめ		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	よくわかる摂食・嚥下のメカニズム	山田好秋	医歯薬出版	2004・3,990円
	摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために　第１巻　総合編	西尾正輝	インテルナ出版	2008・1,050円
	摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために　第２巻　嚥下食編	西尾正輝	インテルナ出版	2008・2,500円
参考書	摂食・嚥下リハビリテーション 第２版	才藤栄一、向井美恵	医歯薬出版	2007・7,200円
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、定期試験

【履修上の留意点】